

# はだの歴史博物館ニュース



Vol. 21 令和7年度 冬号

HADANO HISTORY MUSEUM NEWS

## 令和8年度 企画展

### 「くらしの中の 竹」開催のお知らせ

開催日 令和8年2月28日(土)～5月10日(日)

場所 はだの歴史博物館 第2企画展示室

内容 秦野では、かつて竹産業が盛んでした。

人々の身の回りには加工された竹製品があり、秦野の暮らしを見守っていたのです。この展示では博物館に所蔵されている、生活に密着した竹製の用品や、それらが使われていた様子を写真などで紹介します。

展示内容 1)縄文時代の竹・笹 2)民家と竹 3)秦野の竹細工  
4)竹の民具 5)民俗行事と竹 6)竹利用の将来



国登録文化財縁水庵の「ひしぎ竹」の壁



竹のおもちゃ作り(へび)

## 令和8年度 企画展

# 「絵図で読む秦野の歴史」開催のお知らせ

開催日 令和8年3月10日(火)～ 5月17日(日)

場所 はだの歴史博物館 第1企画展示室

内容 現代の地図は、精密な測量に基づき作られることが一般的ですが、そのような技術が確立される以前では、絵画的な表現で描かれる絵図が一般的でした。絵図は、その用途や目的によって取捨選択された事物が描かれ、形式も多種多様です。

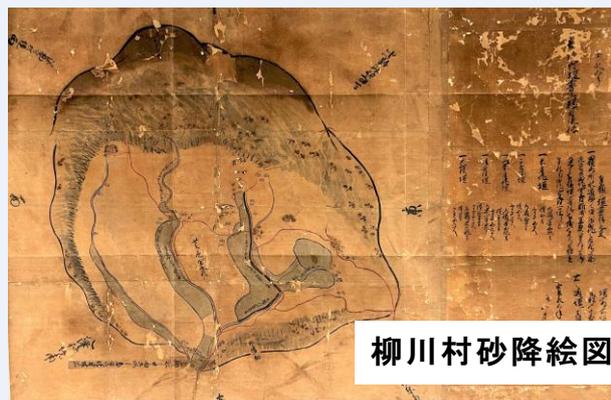
本展では江戸時代から明治時代初期に、秦野市域が描かれた絵図や地図を実物や写真で紹介し、関連資料も併せて、背景にある歴史を解説します。

- 展示内容 1) 絵図の世界      2) 相模国の中の秦野  
3) 秦野の村と町      4) 明治時代の地図から秦野を見よう

## 絵 図 の 一 例



羽根寺社絵図



柳川村砂降絵図



四ツ角拡大図



曾屋全図

## 謎の「え ず だんかん絵図断簡」をめぐって

### 裁許絵図の調査

昨年、神奈川県立歴史博物館の方から「旧幕府裁許絵図（きゅうばくふ さいきよえず）」の秦野市内での所在について問い合わせがありました。裁許絵図とは、江戸時代に村同士で起こった境界などの争論に対し、江戸幕府の評定所等で下された裁許の証拠として作られた絵図で、現代でいえば裁判の判決を証明するものです。裁いた幕府、訴えた人、訴えられた相手、この三者で所持していたはずですが、時代を経た今では所在不明になっている絵図も多々あります。秦野市にある幕府の裁許絵図は、市民からの寄付により当館で所蔵するものと個人で所蔵されるものが数点確認されています。それを県立博物館に伝えると、まもなく学芸員の方が来訪され、当館で所蔵および寄託されている絵図の閲覧と撮影が行われました。

### 横野地区の絵図

その後、別件で『秦野市史資料所在目録』を見ると、原所蔵が横野地区で現在は当館所蔵となっている文書群の中に、資料名「絵図断簡」とのみで年代記入がない項目を見つけました。断簡とは「きれぎれになって残っている文書・書簡、文書の切れはし（「コトバンク」より）」という意味です。気になってその資料を取り出すと、本来は糊で繋がっていたと思われる数十枚の紙の束で（右上画像）、並べると大きな絵図になりそうでした（この時は並び順がわからず雑に繋げただけです）。くずし字で江戸時代の年号と文章が書かれた紙もあり、読んでみると幕府の裁許と思われる内容です。そこで年号を頼りに『秦野市史』資料編を調べると、絵図に記される人物名と地名が一致する裁許の資料を見つけました。幕府の裁許絵図といえば…と、以前に調査で来館された県立歴史博物館の方へ画像を送り見てもらうと、この絵図は「立会絵図（たちあいえず）」の写し

であろうとのこと。この絵図が示す裁許は「旧幕府裁許絵図」の一覧にも記され、秦野市史にも史料が掲載されていますが、裁許に関する絵図の現存は確認されていませんでした。ですので、これが新たな発見となります。



再び県立歴史博物館からの来訪を受け、絵図断簡が一枚ずつ撮影されました。その後、それらの画像を他の資料と照合しながら繋ぎ合わせた結果、一枚の絵図になったという報告が届きました。

### わかりやすいけど、わかりにくい「絵図」

絵図は視覚的な表現でわかりやすく歴史を伝えてくれる資料です。昔の街並み、消滅した建築物、川の流路など、一見しただけでも様々なことがわかります。一方で、その絵図がなぜ、いつ、誰が、何のために描いたのか？「絵」単体ではわからないことも多く、実は、絵図の内容を読み解くことは難しいのです。そのためには、絵図に記されている文字や、他の古文書による情報も必要になります。今回の絵図断簡は、絵図に記された文字を読み、他の文字史料と比較し、詳しい識者の知見を得ることで、地域の歴史情報を多く含む貴重な資料であることが判明しました。絵図は見たそのままだでも昔の情報を得ることができませんが、さらに読み解いていくと、絵図の背景や描かれた地域の歴史について、これまでとは違った発見があるかもしれません。

ここで取り上げた絵図は企画展「絵図で読む秦野の歴史」で展示します。ぜひご覧ください。

（博物館研究員 早田）

## ミュージアム青空レクチャー 「新東名関連遺跡整理作業見学会」

- 日時 令和8年3月18日(水) 午前10時～正午
- 集合場所 JR相模線門沢駅改札前広場 10時集合 現地まで徒歩移動  
事前申し込み3月1日受付開始 (先着25名)  
申し込み先 はだの歴史博物館 TEL:0463-87-5542
- 参加費 無料(交通費は各自負担)
- 内容 発掘調査後の整理作業がどのようにすすめられているのかを  
広く市民に知っていただくため、かながわ考古学財団の協力のもと整理作業見学会を開催します。

## 桜土手古墳公園 お花見フェア 2026

(市内のお店による飲食・雑貨の販売)  
(昔遊び体験・桜土手古墳群の解説など)

- 日時 令和8年3月28日(土)  
午前10時から午後4時頃まで(雨天の場合中止)  
売り切れ次第終了のお店もあります。
- 場所 桜土手古墳公園モニュメント付近  
自由参加です、事前申し込みは不要です。
- 同時開催 古墳 de ZUMBA (ダンスエクササイズ) 3月28日(土) 午前11時～午後0時半  
講師:インストラクター 村山美穂氏  
事前申し込み3月1日受付開始 (先着25名)  
申し込み先 はだの歴史博物館 TEL:0463-87-5542

### <はだの歴史博物館へのアクセス>

- ☆小田急線渋沢駅北口より徒歩20分
- 〃 バス秦54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
  - 〃 バス秦12 秦野駅行「古墳公園前」下車徒歩3分
  - 〃 バス渋05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
- ☆小田急線秦野駅北口より
- 〃 バス秦54 渋沢駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
  - 〃 バス秦12 渋沢駅北口行「古墳公園前」下車徒歩3分
- ☆入館無料 開館時間午前9時～午後5時 駐車場有  
(月曜と祝日の翌平日・年末年始は休館)(入館は午後4:30まで)
- はだの歴史博物館ニュース Vol.21 令和7年度 冬号
- 発行日 令和8年2月12日
- 編集発行 はだの歴史博物館
- 〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3  
TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794
- ホームページ: はだの歴史博物館

